

順位	氏名（議席）	発言の要旨
3	川窪 吉男（29）	<p>1. 下水道施設の維持管理について</p> <p>令和7年1月28日午前10時頃、埼玉県八潮市において、下水道管の破損が原因と考えられる大規模な道路陥没事故が発生しました。深さ15メートルほどの穴が空き、トラック1台が穴に転落しました。運転していた男性の安否はいまだに分かっておりません。埼玉県によりますと、破損した下水道管は直径4.75メートル、1983年（42年前）に埋設されたもので、上流の12市町から集まった下水を近くの大規模な流域下水処理場に送る下水道管だったようであります。</p> <p>この事故によって、埼玉県は12市町を対象に洗濯や風呂などの排水自粛を呼びかけており、影響は120万人に及んだとしています。この下水道管の破損の原因は、下水に含まれる有機物が腐敗し硫化水素を発生させ、それが空気に触れて硫酸となり、この硫酸が下水道管を徐々に腐食させて、穴が空き、そこから土砂が落ちて道路下に空洞ができ、地盤が重さに耐えられなくなり陥没したとされています。</p> <p>埼玉県では、この下水道管を5年に1度、目視などで腐食の有無を点検し、一部に腐食が見られたものの、直ちに工事の必要な状況ではないと判断したようであります。しかし、結果としてこのような事故が発生したことから、現状の維持管理において問題があったのではないかと考えるところであります。また、この事故を受けて、国から全国の下水道事業管理者に対し、晴天日の最大汚水量が1日当たり30万立方メートル以上の大規模な処理場につながる直径2メートル以上の下水道管の緊急点検の要請がありました。本市においては、この要請に対し該当の下水道管はなかったものの、緊急点検を迅速に行い、異常なしの安全確認をしたと新聞、テレビで報道されました。このことは、私をはじめ市民の皆さんも大変評価したと思うところであります。しかしながら、今後、下水道管を含めた下水道施設全体の老朽化は一層進行すると考えられます。八潮市のような事故を発生させないためにも、下水道施設の維持管理をしっかりと実施していくべきと考え、以下伺います。</p> <p>(1) 本市における下水道管の老朽化の進行状況はどのようになっているのか伺います。</p> <p>(2) 本市において下水道管の破損が原因と考えられる道路陥没事故は年間何か所発生しているのか伺います。</p> <p>(3) 本市における下水道管の維持管理について、現状どのように行っているのか伺います。</p>